



# GMB 株式会社

## 2010年3月期決算説明会資料

2010年5月25日・27日



証券コード 7214

<http://www.gmb.jp>

注) 本資料中、当社の業績等に関わる数値は、表示桁数未満切捨て記載しております。



. 2010年3月期実績

. 2011年3月期計画

. 総括 & 今後の事業戦略

# 2010年3月期 損益実績



	09 / 03月期		10 / 03月期		前期比	
	金額(百万円)	(構成比)	金額(百万円)	(構成比)	差額	増減率(%)
売上高	35,669	(100.0%)	29,253	(100.0%)	6,415	18.0
売上総利益	5,524	(15.5%)	4,826	(16.5%)	698	12.6
営業利益	567	(1.6%)	576	(2.0%)	8	+ 1.5
経常利益	610	(1.7%)	338	(1.2%)	272	44.5
純利益	597	(1.7%)	75	(0.3%)	521	87.4
EPS(円)	114.57	-	14.41	-	-	-



- 3 -

# グループ個社別業績実績



(単位: 百万円・各通貨1単位当たり円)

	決算期	売上高	営業利益	経常利益	純利益	期中平均レート
GMB CORPORATION (単体)	09/03月期	15,340	349	304	166	-
	10/03月期	↓ 13,555	↓ ▲ 107	▲ 146	▲ 216	-
GMB KOREA CORP.	08/12月期	21,759	629	717	532	0.0963
	09/12月期	↓ 18,323	→ 523	497	415	↓ 0.0736
GMB NORTH AMERICA INC.	08/12月期	2,264	▲ 93	▲ 73	▲ 73	103.46
	09/12月期	↗ 3,264	▲ 84	▲ 79	▲ 79	93.58
青島吉明美机械制造有限公司	08/12月期	4,120	▲ 353	▲ 318	▲ 317	14.89
	09/12月期	3,892	↗ 150	171	190	13.70
THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.	08/12月期	2,418	▲ 108	▲ 256	▲ 256	3.15
	09/12月期	2,192	↗ 121	↗ 199	199	2.73
青島吉明美汽车配件有限公司	08/12月期	321	▲ 59	▲ 65	▲ 64	14.89
	09/12月期	779	▲ 17	▲ 35	17	13.70

在外子会社については、連結調整前の現地決算を期中平均レートで円換算

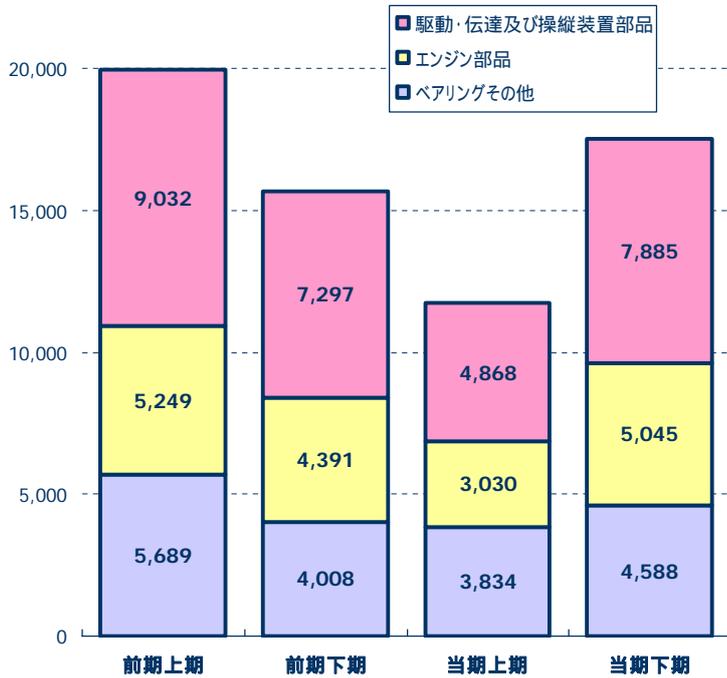
山東吉明美工業有限公司は2Q末で連結除外

- 4 -

# 売上高の品目分類別増減（半期毎）



(単位:百万円)



## 1. 駆動・伝達及び操縦装置部品

下期に入り、韓国OEM向けのバルブスプールやジョイント、欧州OEM向けユニバーサルジョイントが回復したが、前半の落ち込みで当期ではマイナス。

## 2. エンジン部品

米国市場では引き続き順調に推移し、9月より大手チェーンストア向け納品開始もあり、増加。

他の補修用ウォーターポンプでも受注回復してきたが、生産遅れもあり、売上としては伸び悩む。

韓国OEM向けでも順調に増加。

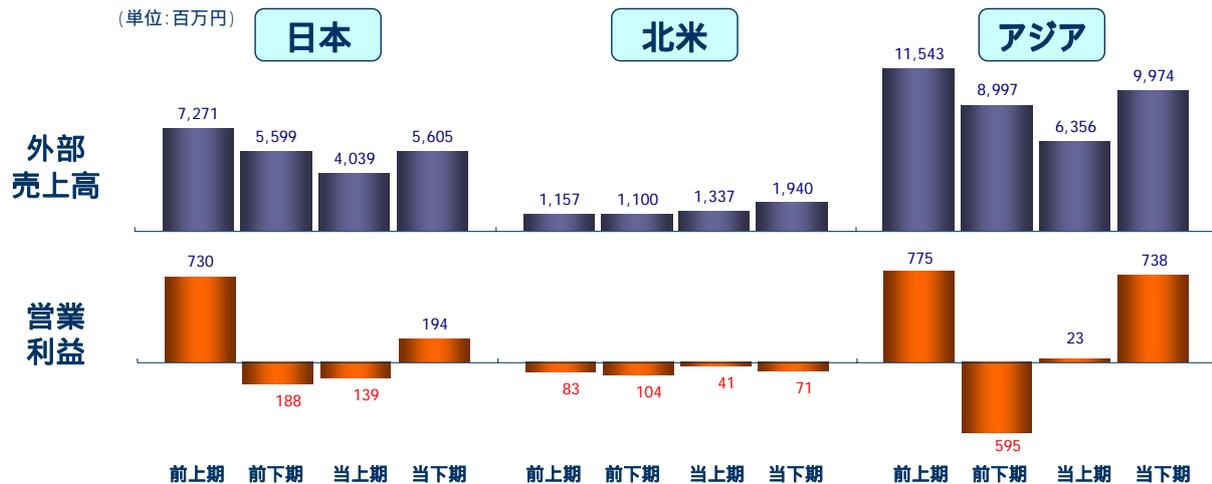
## 3. ベアリングその他

テンショナー・アイドラ・ベアリングは補修用の回復が遅れる。

# 所在地別セグメント実績推移（半期毎）



(単位:百万円)



## 1. 日本

欧州OEMやメインの海外補修用部品の回復が見られ、W/P納期遅れも期末に向けて解消が進むが、前半の落ち込みをカバーできず、営業利益面では、売上回復と固定費削減すすめ黒字基調へ。

## 2. 北米

大手チェーンストア向け納入が下期以降本格的に開始したが、一時的なコストを含めそれに伴う販売関連費用も増加したため、期末にかけて赤字拡大。

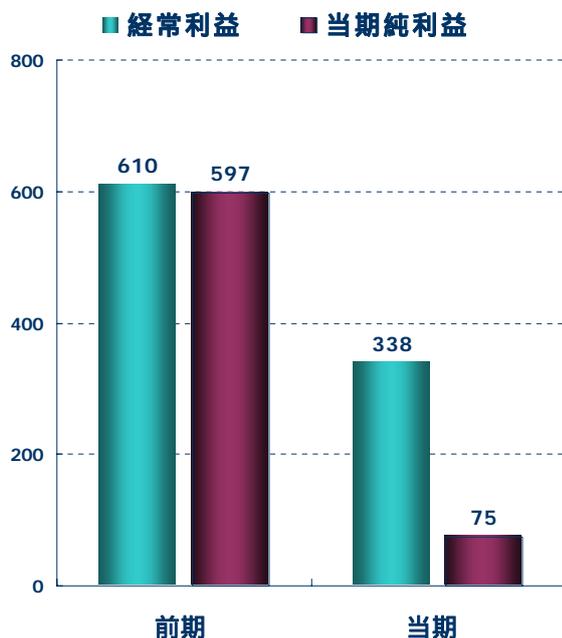
## 3. アジア

韓国単体は、売上が危機前を超える水準まで本格回復したことで、仕入コスト削減と固定費削減効果により収益改善。他のメインの生産拠点である青島とタイも生産量の回復により材料価格の下落メリットを享受して安定的な収益体質に改善。

# 経常利益・純利益の実績



(単位:百万円)



	前期	当期	増減
営業利益	567	576	8
営業外収益	398	138	▲ 260
内 為替差益	163	-	▲ 163
受取利息	59	32	▲ 27
負ののれん償却額	22	36	14
営業外費用	355	376	20
内 支払利息	230	214	▲ 16
手形売却損	97	83	▲ 13
為替差損	-	50	50
経常利益	610	338	▲ 272
特別利益	125	70	▲ 54
内 固定資産売却益	22	11	▲ 11
貸倒引当金戻入額	76	-	▲ 76
持分変動利益	20	1	▲ 19
補助金収入	-	57	57
特別損失	57	162	105
内 固定資産除売却損	35	8	▲ 27
役員退職金	22	1	▲ 20
関係会社整理損失引当金繰入額	-	75	75
訴訟損失引当金繰入額	-	76	76
税金等調整前当期純利益	679	246	▲ 432
法人税等	▲ 177	41	219
少数株主持分損益	259	129	▲ 129
当期純利益	597	75	▲ 521

- 7 -

# キャッシュ・フローの実績



	前期	当期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	2,230	2,568	+ 338
投資活動によるキャッシュフロー	3,110	3,077	+ 33
財務活動によるキャッシュフロー	1,574	66	1,640
フリーキャッシュフロー	880	508	+ 371



【当期の主な内訳】

1. 営業CF	
税金等調整前利益	246百万円
減価償却費	2,067百万円
売上債権の増加	1,395百万円
たな卸資産の増加	1,365百万円
仕入債務の増加	2,248百万円
各引当金の増加	327百万円
2. 投資CF	
設備投資	2,162百万円
タイ協和GMB投資	102百万円
3. 財務CF	
社債の発行	500百万円
借入金の減少	456百万円

- 8 -



. 2010年3月期実績

. 2011年3月期計画

. 総括 & 今後の事業戦略

- 9 -

## 2011年3月期 損益計画



(単位:百万円・円)

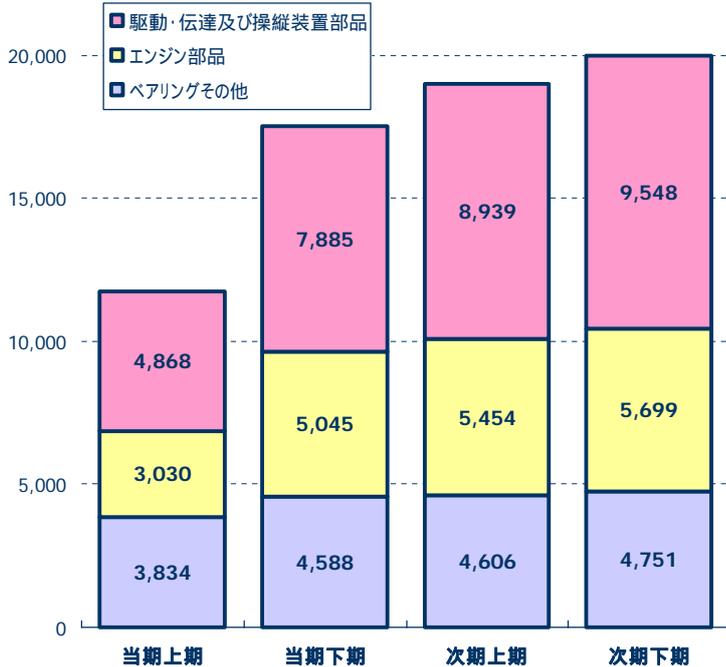
	10/03月期	11/03月期			前期比
	(通期実績)	(1Q-2Q計画)	(3Q-4Q計画)	(通期計画)	
売上高	29,253 (100.0%)	19,000 (100.0%)	20,000 (100.0%)	39,000 (100.0%)	+33%
営業利益	576 (2.0%)	1,000 (5.3%)	800 (4.0%)	1,800 (4.6%)	+212%
経常利益	338 (1.2%)	870 (4.6%)	680 (3.4%)	1,550 (4.0%)	+358%
当期純利益	75 (0.3%)	400 (2.1%)	350 (1.8%)	750 (1.9%)	+898%
一株当たり 当期純利益	14.41	76.75	-	143.91	

- 10 -

# 売上高の品目分類別計画（半期毎）



(単位:百万円)



## 1. 駆動・伝達及び操縦装置部品

韓国OEM向けのバルブスプールなど6速AT関連の需要が本格的に拡大。  
欧州OEM向けジョイント関連が拡大。

## 2. エンジン部品

補修用市場において、米国の大手チェーンストア取引と他の海外需要回復が通年で寄与。  
欧州OEM向けも本格的に増加。

## 3. ベアリングその他

テンショナー・アイドラー・ベアリング含め横這いを予想。

# 所在地別セグメント計画（半期毎）



(単位:百万円)



## 1. 日本

欧州OEMやメインの海外補修用部品の回復が通年で寄与。削減した固定費を維持することで、前期4Q並みの利益が推移する計画。

## 2. 北米

大手チェーンストア向け売上が通年で貢献することで大幅な増収と、中国外注先からの調達コスト削減などでV字回復の黒字化を計画。

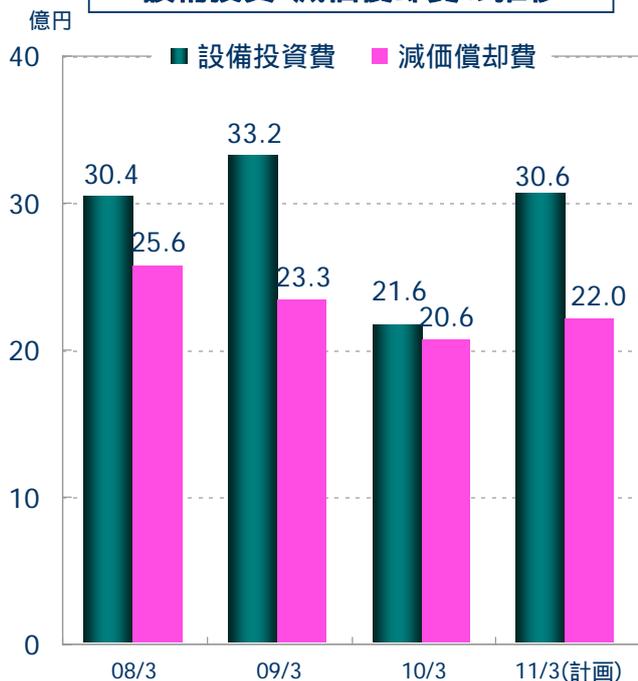
## 3. アジア

韓国単体は、好調な韓国新車向け販売に、6速AT対応関連の売上増加を見込む。韓国は増産対応で償却費も増加し、固定費削減効果も薄れる。また、他の子会社合せて鋼材・アルミなど原材料価格の値上がりもあり、利益は横這いから下期減益を予想。

# 設備投資・減価償却費推移



### 設備投資・減価償却費の推移



### '11/03月期設備投資計画の内訳

	設備投資 (億円)	主な内容
日本	3.3	維持・合理化中心
韓国	22.0	6速AT関連対応増産・新規開発・更新等
中国3社	2.9	日本・韓国から生産移管維持・更新
タイ	2.4	
計	30.6	

# 主要グループ企業の計画数値



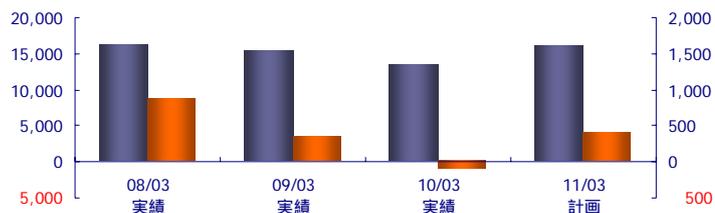
## GMB (単体)

(単位:百万円)

	08/03 実績	09/03 実績	10/03 実績	11/03 計画
売上高	16,214	15,340	13,555	16,000
営業利益	876	349	107	400
換算レート	-	-	-	-

左軸:売上高

右軸:営業利益



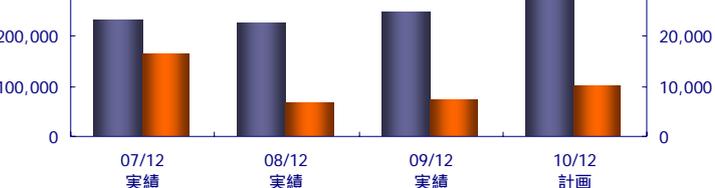
## GMB KOREA CORP.

(単位:百万ウォン)

	07/12 実績	08/12 実績	09/12 実績	10/12 計画
売上高	231,908	225,952	248,954	292,000
営業利益	16,303	6,533	7,106	10,000
換算レート	0.1269	0.0963	0.0736	0.0800

左軸:売上高

右軸:営業利益



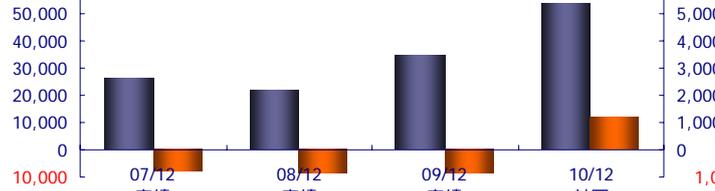
## GMB NORTH AMERICA INC.

(単位:千ドル)

	07/12 実績	08/12 実績	09/12 実績	10/12 計画
売上高	26,050	21,888	34,889	53,500
営業利益	814	906	901	1,200
換算レート	117.84	103.46	93.58	90.00

左軸:売上高

右軸:営業利益



. 2010年3月期実績

. 2011年3月期計画

## . 総括 & 今後の事業戦略

- 15 -

### 2010年3月期 総括

#### GMBグループのトピックス

##### ■ 世界的な需要回復傾向に

- 韓国 : 新車用部品販売が急回復
- 中国 : 生産体制・材料調達体制確立
- 米国 : 大手チェーンストア向け販売堅調
- 欧米 : 新車需要回復
- 生産性向上やコスト削減効果が顕著に
- 効率化した生産・調達体制の維持

- 16 -

## GMBグループの課題と施策

- 中国: 海外系進出企業向け対応  
国内マーケット対応

- 米国: 補修用部品の多様化  
収益力・シェアアップ



ハブ・ベアリング

## GMBグループの課題と施策

- タイ: グループ向け製品供給地確立  
OEMの拡大

- 日本: 世界のアフター市場への対応する体制確立  
技術力の確立

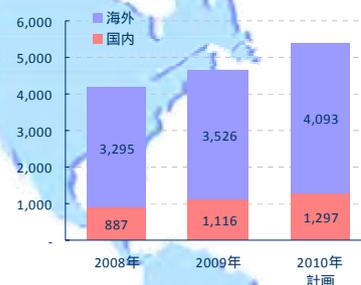


ウォーターポンプ

## GMBグループの課題と施策(韓国)

- 現代自動車グループの展開への対応
- 現代Gr以外の国内完成車企業への対応
- 海外市場への対応
- 技術提案企業として次世代自動車への対応

現代・起亜車 自動車生産台数(千台)



瑞山工場

- 所在地 忠清南道瑞山市
- 初期投資 約20億円(09年～10年計画)
- 販売計画 09年 3億円 10年 20億円 11年 30億円
- 製造品目 パルプスプール、ピニオンシャフト、リテーナー



- 将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 本資料および当社IRに関連するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

**<お問い合わせ先>**  
**GMB株式会社 経営管理室**  
電話 : 0745-44-1912  
Email : [ir@gmb.jp](mailto:ir@gmb.jp)

# GMB 株式会社

## 事業内容説明資料

(2010年3月期)

( 証券コード : 7214 )

<http://www.gmb.jp/>

注) 本資料中、当社の業績等に関わる数値は、表示桁数未満で切捨して記載しております。



### 目 次

	ページ
GMBの概要	2
GMBの主要取扱製品	4
生産・販売ともにグローバルに展開	6
GMBの特徴	9
GMBと韓国GMBの売上構成	12



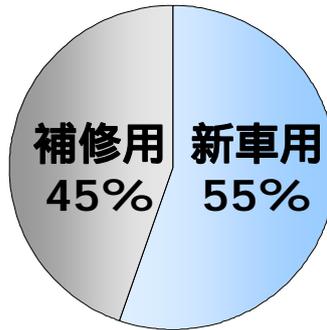
# GMBグループの概要

商 号 : GMB株式会社  
 創 業 : 1943年(昭和18年)  
 代表取締役会長 : 松岡 信夫  
 代表取締役社長 : 南北 一雄  
 所 在 地 : 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3  
 事 業 内 容 : ユニバーサルジョイント、ウォーターポンプなどの自動車部品製造・販売  
 グループ会社 : GMB KOREA CORP.、GMB NORTH AMERICA INC.、青島吉明美機械制造有限公司、  
 ( 6 社 ) : 青島吉明美汽车配件有限公司、THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.、THAI KYOWA GMB CO.,LTD.  
 従 業 員 : 2,325名 (単体 413名)

日韓GMBを主体に補修用部品と新車用部品に取組む独立系自動車部品メーカー



補修用部品主体



新車用部品主体



# GMBグループの概要



# GMBの主要取扱製品

駆動・伝達・操縦装置用部品: 売上構成比 46%

⊕ユニバーサルジョイント



⊕ステアリングジョイント



⊕バルブスプール



⊕サスペンション部品



注) 構成比は  
2010/3月期

エンジン部品: 売上構成比 27%

⊕ファンクラッチ



⊕ウォーターポンプ



ベアリング他: 売上構成比 27%

⊕テンショナー&アイドラー・産業用



## (参考) 主要取扱製品の説明

ウォーターポンプ



冷却水循環用ポンプ

ユニバーサルジョイント



回転軸折曲げ部に使用される十字軸自在継手

バルブスプール



オートトランスミッションの油圧制御機械部品

ファンクラッチ



後部に取り付けられ、自動的にファンスピードを制御し、エンジンを適正温度で維持させる機能部品

テンショナー  
& アイドラーベアリング

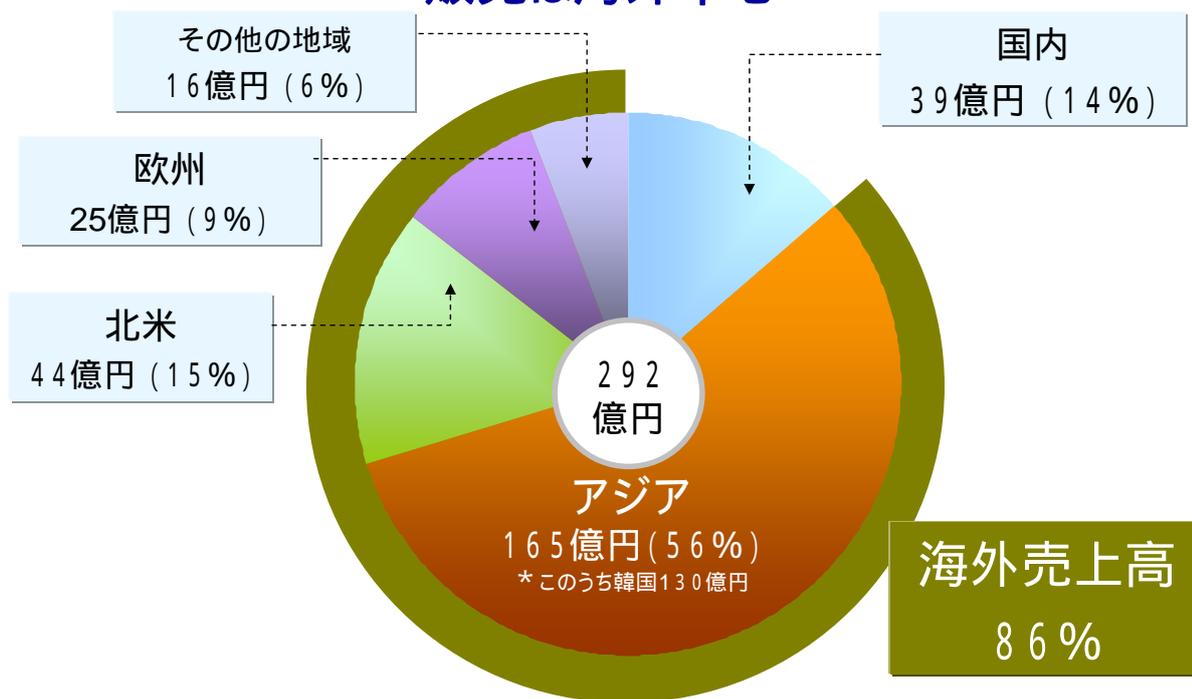


駆動ベルトの緩み防止、方向転換をする軸受



# 生産・販売ともにグローバルに展開

## 販売は海外中心



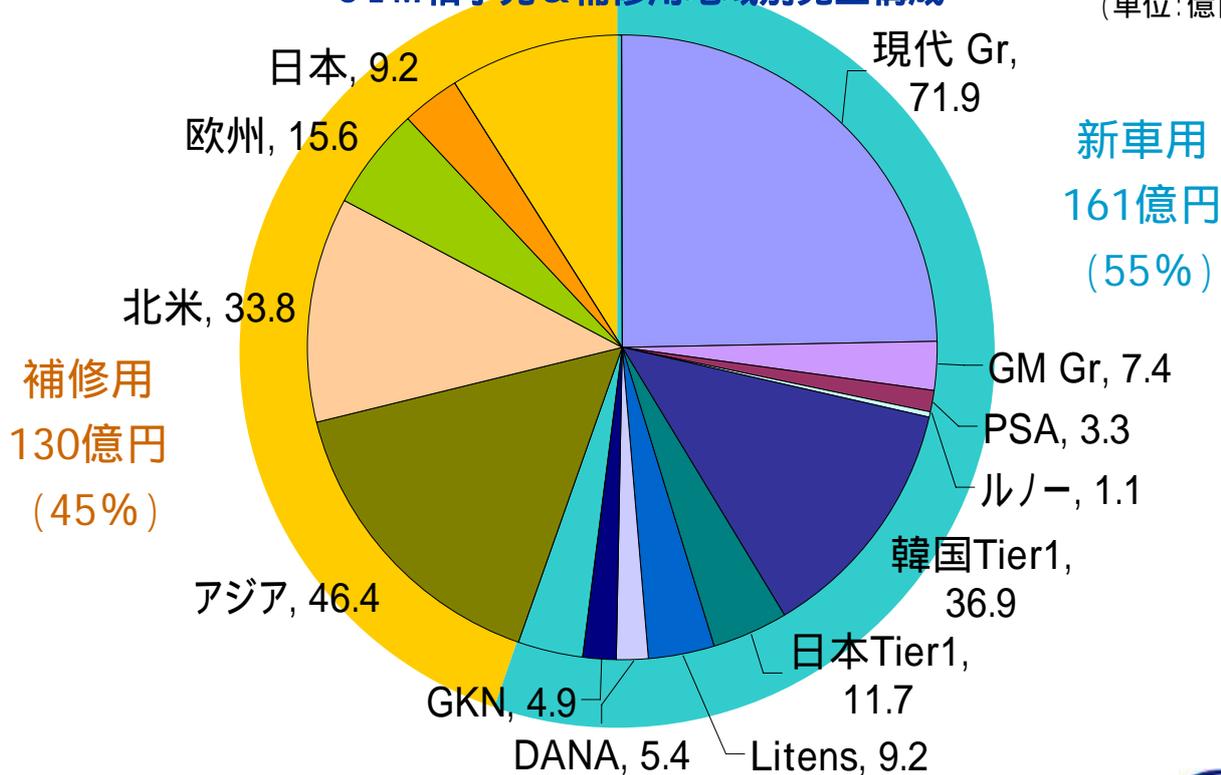
(注) 2010/3期連結ベース、括弧内は構成比



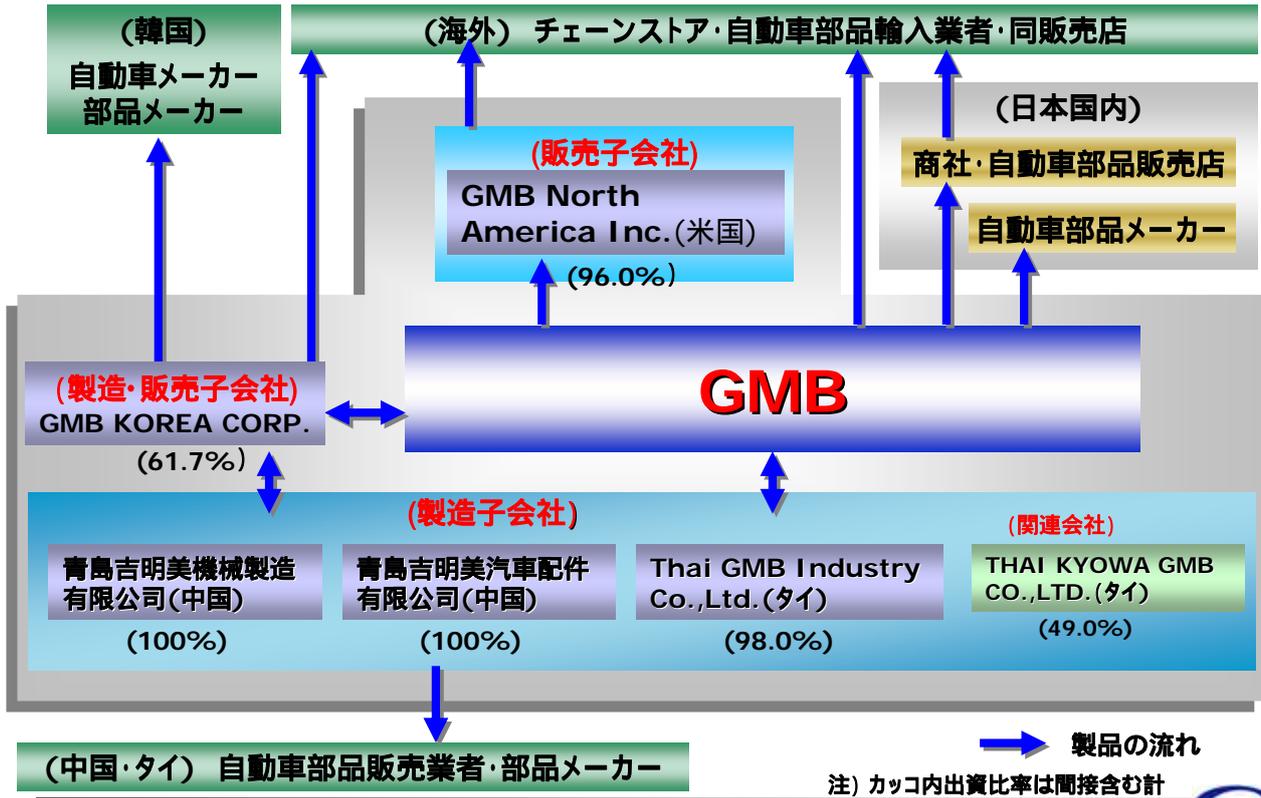
# 生産・販売ともにグローバルに展開

## OEM相手先&補修用地域別売上構成

(単位: 億円)



# 生産・販売ともにグローバルに展開



## 特徴 海外補修用市場でブランド確立

### 海外市場

年間走行距離も長く、クルマは壊れることが当たり前  
簡単な部品交換はDIY(自分で修理する)ユーザーも少なくない  
道路や水質など使用環境の苛酷な途上国では交換需要はさらに増加  
日本車は完成車メーカーの海外展開と中古車輸出で増加



いち早く海外市場へ目を向け市場を開拓・ブランド確立



海外顧客向け弊社「News Letter」

【参考】 補修用部品の交換需要関連データ

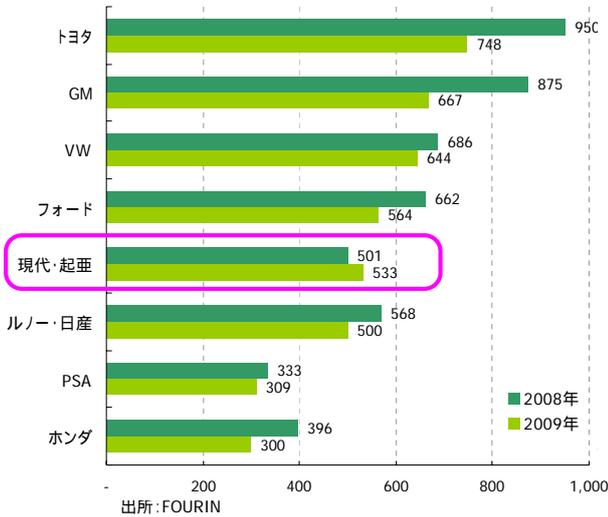
	乗用車 保有台数 (万台)	年平均 走行距離 (km)	車齢10年 を超える 保有数	平均車齢 (年)
日本	4,206	9,896	13%	5.84
米国	18,319	18,870	40%	8.30
フランス	2,748	14,100	30%	7.50

2002年3月JETRO「対日アクセス実態調査報告書(補修用自動車部品)」より

# 特徴 現代・起亜自動車とのつながり

- 韓国自動車黎明期の1979年に進出し国産化に貢献
- 現代自動車グループへの売上高比率28% (10年3月期)
- 韓国車は金融危機後も海外市場で販売好調

自動車生産台数ランキング(万台)



【米国新車販売シェア(%)】

順位	メーカー	2009年	2008年
1	GM	19.8	22.2
2	トヨタ	17.0	16.7
3	フォード	15.5	14.4
4	ホンダ	11.0	10.8
5	クライスラー	8.9	11.0
6	日産	7.4	7.2
7	現代	7.1	5.1
8	富士重	2.1	1.4
9	VW	2.0	1.7
10	マツダ	2.0	2.0

【中国新車販売シェア(%)】

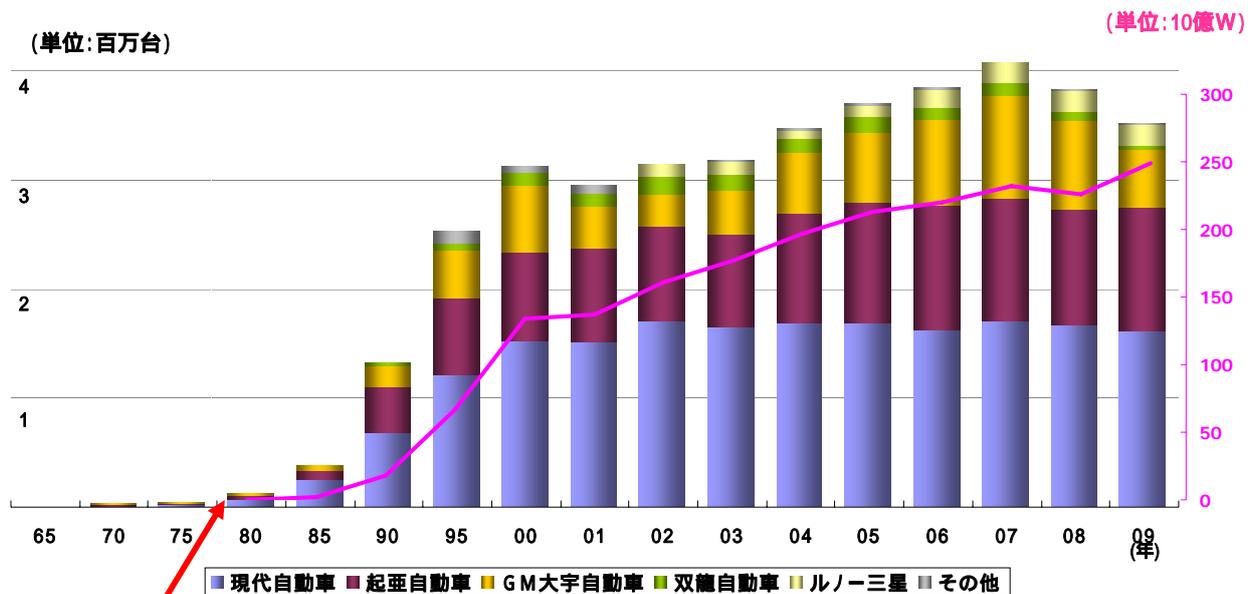
順位	メーカー	2009年	2008年
1	VW	16.5	17.2
2	現代	9.7	7.9
3	GM	9.0	8.4
4	トヨタ	7.8	10.3
5	ホンダ	6.6	8.0
6	日産・ルノー	6.2	6.2
7	奇瑞汽車	5.7	6.0
8	比亜迪汽車	5.1	2.9
9	浙江吉利控股集团	3.8	3.7
10	中国第一汽車集団	3.5	3.8

(出所: 日本経済新聞)



## (参考) 韓国自動車業界黎明期に現地進出

韓国自動車生産台数の推移と GMB KOREA CORP. の売上高推移

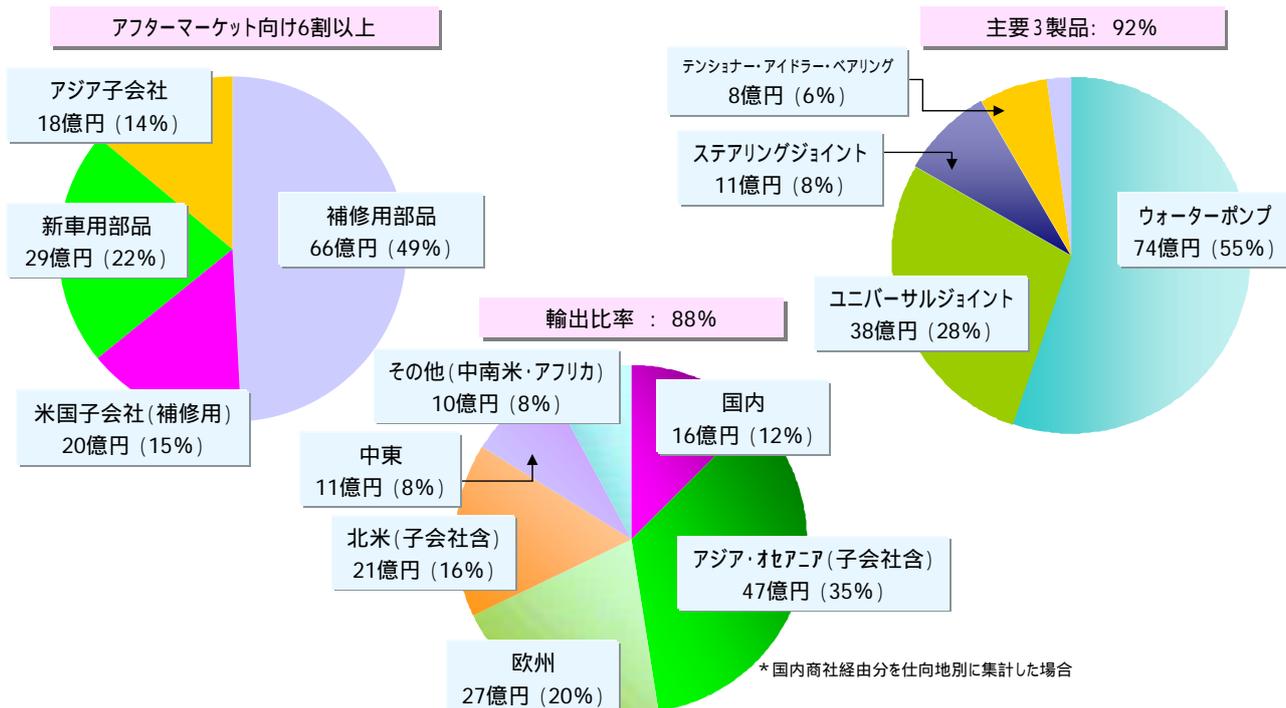


(出所) 韓国自動車工業協会、日本自動車工業会「世界自動車統計年報」



# GMBは補修用市場にWP・UJを販売

GMB(個別)売上高構成 (10年03月期 135億円)



# GMB KOREAは韓国内OEM供給が主体

GMB KOREA CORP. 売上高構成 (09年12月期 183億円)

